

2018年度 小委員会活動成果報告

(2019年1月7日作成)

小委員会名	地盤震動小委員会	主 査 名：永野正行 就任年月：2015年4月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (振動運営委員会)	委員長名：塩原 等 主 査 名：長島一郎
設 置 期 間	2015年4月 ～ 2019年3月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	震源から表層地盤までの強震動・地盤震動研究の推進と成果公表 初年度：国、地方自治体で公開される予測地震動の情報を収集分析 2年度：地盤基礎振動小委員会と合同で浅部地盤による地盤増幅問題を議論 3年度：深部地盤の推定精度とそれによる地盤増幅に関する問題を議論 4年度：最新の研究動向、予測地震動の作成と実務に供する際の課題を整理	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：有	
	主査：永野正行(東京理科大学) 幹事：上林宏敏(京都大学)、佐藤智美(清水建設)、山本優(大成建設) 委員：大野晋(東北大学)、大堀道広(福井大学)、川辺秀憲(京都大学)、神野達夫(九州大学)、浅野公之(京都大学)、高井伸雄(北海道大学)、高橋広人(名城大学)、松島信一(京都大学)、三浦弘之(広島大学)	
設置WG (WG名：目的)	強震動企画WG：地盤震動シンポジウム、地域交流会、大会PD等の企画・実施を通じ、最新の地盤震動研究の成果を広く会員に公表するとともに、震源近傍を含む強震動作成に関する最新の知見をまとめる。 地盤構造推定WG：地盤構造の各種推定手法について、数値実験などによる検証や実例報告の調査に基づき、そのパフォーマンスを整理する。	
2018年度予算	600,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv.ajj.or.jp/kouzou/s4/

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	5回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	1. 第38回地盤震動地域交流会(2018) 参加者数 64名 2. 第46回地盤震動シンポジウム「地盤構造はどこまで分かるのか? —地盤構造評価の現状と課題」 参加者数 210名 『同名資料』
大会研究集会	1. PD：震災の教訓を如何に地震動・地盤・基礎の研究に活かすか (地盤基礎系振動小委員会と共同) 参加者数 241名 『構造部門(振動)パネルディスカッション資料：同上』
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 地盤震動シンポジウム、地域交流会の開催等の活動を通じ、地盤震動研究の普及に貢献。2018年に発生した2つの被害地震の調査を通じ、社会に貢献。 2. 地盤構造推定ベンチマークテストの対外発表、より高度なモデルへの応用
委員会活動の問題点・課題	1. 若手研究者の育成 2. 刊行物の販売促進 3. 他小委員会との意見交換、合同活動